

6. 人間観

6-1. 技能による人間の分類

アイヌは誰が訪ねてきても根性悪いこと (イキ ウェン iki wen) はしないで、「早く中に入れて食事しなさい (エタク アフプ ワ イペ ヤン etak ahup wa ipe yan)。」などと言う。

イソウンクル isounkur には一人も根性の悪い人はいない。根性の悪い人には神は遊びに来ない (カムイ シネウェ kamuy sinewe しなさい)。根性が良い人は、神様の世界でも評判が高いため、遊びに来てくれる (カムイ オツ タ エネ ネ ヤクカイ アスル アシ クス シネウパ アン kamuy ot ta ene ne yakkay asur as kusu sinewpa an)。

人間の心について

人間には二心ある。アッセレケ ウェン カムイ asserke wen kamuy とアッセレケ ピリカ カムイ asserke pirka kamuy と。怒り出したら悪い根性が出る。がまんしたら良い根性が出る。どんな偉い人にも二心ある。がまんしなかったら悪い神が勝ってしまう (ウェン カムイ エイカウン wen kamuy eikaun)。そうしたら、その人はだめになってしまう (エネ アカリ イサム クル ネ ナンコン ナ ene a kar i isam kur ne nankon na)。自分の心を抑えることができなかつたならば、悪い心が勝って、自分を悪くしてしまう (ヤイケウトウム オカキシマ エアイカブ ヒ チカナクネ ウェン ケウトウム ヤイエイカウン ヤイウエンテ ナンコロ ナ yaykewtumu okakisma eaykap hi cik anakne wen kewtumu yayeikaun yaywente nankor na)。だから、どんなことがあってもがまんして「切り抜ける」ようにしなさい (ネコン アン ベ アン ヤクカイ ヤイシポロレ ワ エオポソ クニ キ ナンコン ナ nekon an pe an yakkay yaysiporore wa eoposo kuni ki nankon na)。どんな神様でもどんな人間でも二心ある。良い心 (ピリカ ケウトウム pirka kewtum) と悪い心 (ウェン ケウトウム wen kewtum) がある。

老人の仕事

祖父は力無げに畑に座って、トウキビのコッコ (小さいもの) を、反り返った鎌でとっていた。亡くなる時、母に「今晚エカシ危ないから石油買って来い。」といわれた。本別まで走って行って、石油を二合瓶で買った。二合もあれば明りに一晩もつ。「テランプ」を夜通しつけて、エカシの番兵をした。

〔本別・沢井トメノ氏〕

6-2. 身体部位名称

(この節は、服部四郎編『アイヌ語方言辞典』(1964年)の調査項目に従って、目黒治助氏の協力を得て調べたもの。)

頭部

頭 パケ pake、パケヘ pakehe 例文：エ パケヘ e pakehe 「お前の頭」、ク パケヘ ku pakehe 「私の頭」

髪 オトプ otop 例文：エ オトピ e otopi 「お前の髪」、エ オトピ ヌイカラ e otopi nuykar 「髪をとかせ」、パケ ヌイカラ pake nuykar 「髪をとかす」、パヤイケ ル アン ナ payayke ru an na 「髪がくちゃくちゃになって醜いよ」

ふけ パシルマ pāsiruma。

はげ頭：トオンクル パケヘ エイコシテク オトプサク ワ アン toonkur pakehe eikostek otopsak wa an 「あの人ははげて髪の毛もない」。

はげている トウルルケ tururke 「ピカピカしている」 例文：アヤポ エタブ エ パケヘ トウルルケ ル アン ayapo etap e pakehe tururke ru an 「お前の頭ははげている」、トオンクル エイコシテク パケヘ トウルルケ ワ オトプ カ イサム toonkur eikostek pakehe tururke wa otop ka isam 「あの人は、はげてて頭が光り髪の毛がない」、トオンクル パケヘ トントネ ル アン toonkur pakehe tontone ru an 「あの人は、頭が光っている」

脳 ノイペ noype

額 キプトウルフ kiputuruhi、キプトウル kiputur

顔 ナヌフ nanuhu

頬 ナヌ nanu、ノタカム notakam

頬骨 ナンポネ nanpone、ナヌフポネ nanuhupone

こめかみ？

眉 ランヌマ rannuma

目 シキ siki、シキヒ sikihi

目玉 シクヌム siknum

黒目？

白目？

目尻 シクケシ sikkesh

瞳？

見る ヌカラ nukar、インカラ inkar は「ただ見ること」

にらむ：ネコン アン クス タブ エイコシテク エ エン トイコヌカン ル アナ nekon an kus tap eykostek e en toykonukan ru an a 「なんで私をにらんでいるのか」

覗く エヘウパ ehewpa 「こっそり盗み見る」 例文：ネコン アン クス タブ エ エヘ

ウパ ル アナ nekon an kus tap e ehewpa ru an a 「なんで盗み見しているのか」、ポン
スイ ペカ (オロペカ) チセ オシケン インカラ アン pon suy peka (orpeka) cise osken
inkar an 「あなから家の中を覗く」

盲 オアラ シクナク oar siknak

まぶた シクカブ sikkap

まつげ シクラブ sikrap

涙 ヌベ nupe

目やに シクタイベ siktaype

鼻 エトウ etu

鼻孔 エトウプイ etupuy

鼻くそ エトル etor、エトロホ etoroho

鼻血 エトウケム etukem

耳 キサラ kisar

聞く ヌ nu

つんぼ アシパ aspa

耳たぶ キサンラブ kisanrap

口 チャロホ caroho

唇 チャプシ capusi

上唇 オリカシ アン チャプシ orikasi an capusi

下唇 オラシ アン チャプシ orasi an capusi

舌 パルンペ parunpe

歯 イマキ imaki

前歯 コッチャケ タ アン イマク kotcake ta an imak

犬歯 ?

奥歯 イペ イマク ipe imak

口蓋 ニールシ nīrus

口蓋垂 ポン パルンペ pon parunpe

唾液 ノン non

よだれを垂らす ノン ラッキ non ratki

唾を吐き出す エトプセ etopse

顎 ノッキリ notkir

髭 レク rek、誰かの髭 レキ reki、レキヒ rekihi

髭が生える レキ (ヒ) トウク reki(hi) tuk

首、喉 レクチ rekuci、レクチヒ rekucihi

衿首 オクストウフ oksutuhu

咽喉 クットモホ kuttomoho
食道 イペレクツ iperekut
気管 セウリ sewri
息をする ヘーセ hése
溜め息をつく ヘーセ トウリリ hése turiri
吹く ウク uku (火を吹く)
咳をする オムケ omke
たん ラッ rat
くしゃみ エシナ esna
しゃっくり ヨムコロ yomkor
あくび マウソク mawsok
げっぷ イクマウレ ikmawre
吐く (へどを) アトゥ atu

胸部

肩 クーケウエヘ kúkewehe
肩甲骨 ターペラ tápera
脇の下 エヤシポキ eyaspoki
脇毛 ニオロポキ ウン ヌム niorpoki un num
胸 ネットパケ netopake
胸 ペンラム penram、ユクラム yukram
乳 カブ kap、トーペ tópe
乳房 トカブ tokap、カブ kap
あばら (骨) ウツラブ ポネ utrap pone、あばら肉 ウツラブ カム utrap kam
心臓 サムペ sampe
腹 ホニ honi、ホニヒ honihi
腹わた ホンオシケ hon'oske、ホニオシケ honioske
腸 カンカン kankan
大腸 ルエ カンカン rue kankan
小腸 アーネ カンカン áne kankan
胃 ヨシペ yospe
肝臓 フィペ huype、クンネ フィペ kunne huype
へそ ハンカプイエ hankapuye
背中 オシマケ osmake、セトゥルフ seturuhu
背筋 ?
腰 イクケウエ(ヘ) ikkewe(he)

尻 オソロホ osoroho
尻べた オソロ カム osor kam
肛門 シープイエ sipuye
大便する オンネ アシン onne asin
大便 シー si
おなら オブケ opke
小便する、小便 オクイマ okuyma
陰部 男女の別なく コロペ korpe
陰部（男性器） チイエヘ ciyehe
陰部（女性器） カクカハ kakkaha
こうがん ノキヒ nokihi
陰毛 オヌマ onuma
性交する ウコロ ukor

腕部

手（肩から下全体） テケヘ tekehe
肘 シットクケウエ sittokkewe
手（手首から下） パラテク paratek
手の甲 テクメクカ tekmekka
手の平 テクコトロ tekkotor
手の脈 テクサムペ teksampe
手首 テククシ tekkus
指 アシケペツ askepet
親指 ルエ アシケペツ rue askepet
人差し指 イタンキ ケム アシケペツ itanki kem askepet
中指 シンノシキ アシケペツ sinnoski askepet
薬指 オーシ アン アシケペツ ósi an askepet
小指 ポン アシケペツ pon askepet
爪 アミヒ amihi

脚部

足全体 チキリヒ cikirihi
もも オム om
膝 コクカパケ kokkapake
膝頭の裏 ニオロポキ niorpoki
くるぶし チキリ トコム cikir tokom
足首の脈 チキリ サムペ cikir sampe（くるぶしにある）

足首から先 チキリ cikir

足の甲 チキリ メクカ cikir mekka

足の裏 チキリ アサム cikir asam

足の指 ルエ アシケペツ rue askepet「親指」とアーネ アシケペツ áne askepet「親指以外の指」しか言わない。

かかと ケスプ kesup

その他

体毛 ケンヌマ kenuma

皮膚 カブ kap

しわ ヨモムケ yomomke

こぶ トコム tokom

入れ墨 シヌエ sinue

垢：垢まみれだ トウル ウシ tur us

血 ケム kem

血がでる ケム エトゥク kem etuk

血がどっと出る ケム オヘクケ kem ohekke

血管 ケム リッ kem rit

肉 カム kam

骨 ポネ pone、ポネへ ponehe

髄 キル kir

力 キロロ kiror

[本別・沢井トメノ氏]

6-3. イナウとイトクパ

昔は、村の者が皆集まって共同であるカムイノミ (kamuynomi) はなかった。カムイノミは個人で自分の家でそれぞれが行うものである。家紋であるイトクパ(itokpa)はカムイノミのときヌサ(祭壇)に捧げるイナウに入れるものであるが、アペフチイナウ(apehuci inaw、火の神へのイナウ)には入れない。チセイナウ(cise inaw、家の守り神のイナウ)には付ける。熊送り儀礼の時、熊の頭蓋を載せる又木の両方に縛り付けるイナウにもイトクパを施す。シト(sito、団子)を刺す串にはイトクパを付ける事はない。現在、行われているカムイノミは、共同で行っているので個人のイトクパを入れる訳にはいかないのでイトクパを入れていない。

イトクパは、親類同志は同じである。伏古コタンでのイトクパはそれぞれ異なるので覚えていない。父方と母方のイトクパだけを覚えている。(図22)

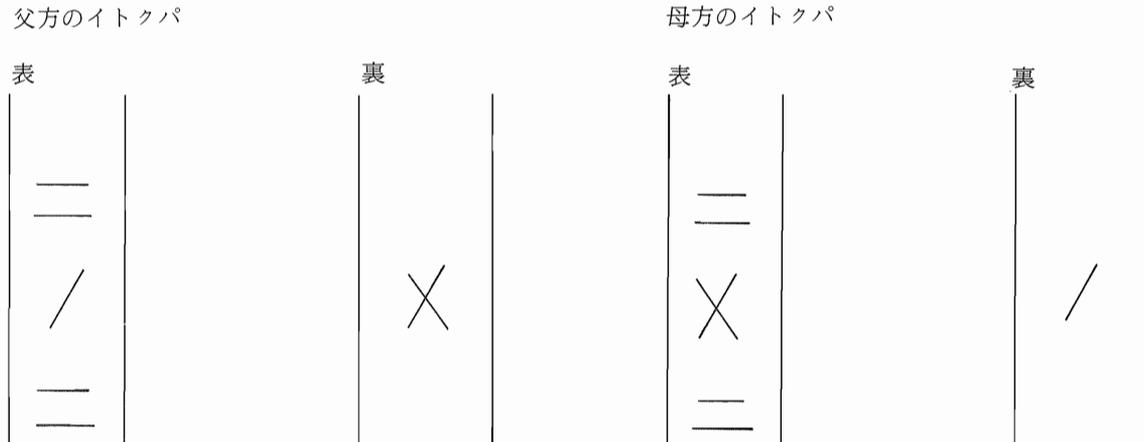
イトクパは男に伝えるもので分家した男の子にはイトクパが伝えられる。女は嫁に行くと嫁入り先のイトクパを使う事になる(?)。

イトクパをイクパスイ (ikupasuy、奉酒箸) の裏と表の両方に付ける事はない。表には付けていたかもしれない。

イナウの作り方は母方の祖母 (溯根ミナ) から17歳の頃に教わった。獺も父の姉の子で高島のいとこの山中ウノスケから教わった。17歳の時に銃の鑑札を取り、村田銃の20番で獺をした。

〔伏古・山川 弘氏〕

図22. 伏古コタンのイトクパ図案



6-4. 人の一生

結婚

配偶者がいなければその家は絶えてしまう。トゥイタクでは、どこか遠い村から、何かに腹を立ててひねくれたように物を言う男なり、女なりがやってきて、村に住み着き、その村の者と結婚し、村が栄えるというふうにした話を付けることが多い。

ネブ カイ ヤイケシパレ ポコン アウキ オクカイ エク チク エ コロ ポン メノ
コ トウラ アマ ワ エチ コロ コタン アスル アシ クニ キ ヤン アニ。nep kay
yaykespare pokon awki okkay ek cik e kor pon menoko tura ama wa eci kor kotan asur
as kuni ki yan ani. 「何か腹を立ててひねくれたように物を言う男が来たら、お前の娘とめあ
わせて、おまえの村が栄えるようにしなさい。」とか、

オノン カイ ヤイケシパレ ポコン アウキ メノコ エク チク エ コロ オクカイ エ
カチ トウラ エ アマ ワ タアン コタン エチ シクカマ クンペ タパン ナ。onon
kay yaykespare pokon awki menoko ek cik e kor okkay ekaci tura e ama wa taan kotan
eci sikkama kunpe tap an na. 「どこからか、腹を立ててひねくれたように物を言う女が来たら、お前の息子をめあわせて、この村を守って行くようにしなさい。」とか、

オノン カイ ヤイケシパレ ポコン アウキ オクカイ エク ナンコロ クス トウラ エ
 コロ ポン エカチ アマ ワ コタン シクカマ キ ヤナニ。onon kay yaykespare pokon
 awki okkay ek nankor kusu tura e kor pon ekaci ama wa kotan sikkama ki yan ani. 「ど
 こからか腹を立ててひねくれたように物を言う男が来るから、お前の子供をめあわせて村を守
 って行きなさい。」ということをも夢(チニタ cinita)で知らされ、めあわせる(トゥラ アマ
 tura ama)という結末になる。(チニタ cinita: 神様は夢でものごとを教えてくれる。枕元に
 すわって教えてくれる。)ヤイケシパレ yaykespareとは、何かおもしろくないことがあって、
 どこかで結婚して住み込もうと、生まれた村を出てさまようことを言う。

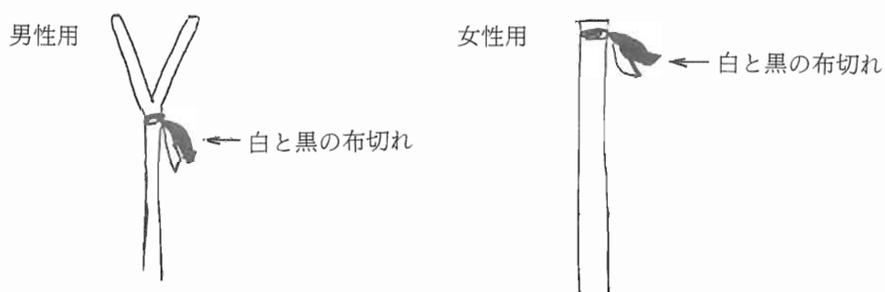
〔本別・沢井トメノ氏〕

葬礼

死者が出ると墓標(ワク kuwa)を立てる。伏古と幕別の墓標は、男はY字形で女は一本の
 真っ直ぐな棒である。墓標の上部に図23のように白と黒の布を巻き付ける。イチャルパ(icarpa)
 は、食べ物を墓の前でばら撒く事で葬儀そのものの意味ではない。

家の東南の便所のある横に死者のために地面に突き刺して立てるイナウをアライシリ イナウ
 (araysir inaw)と呼ぶ。男の死者にはイナウ ネットパ(inaw netopa)で女の死者には皮の付
 いたシトゥ イナウ(situ inaw)である。これは、死者が出て一年後の大抵冬にチセ シクカ
 マ エカシ ノミ(cise sikkama ekas nomi、家の守り神への祈り)と同じ時期に行うアラ
 イシリ ノミ(araysir nomi)の時に立てる。アライシリ ノミは家の中で火の神に報告してか
 ら外の便所の横のアライシリ イナウを刺す場所で祈りをする。死者が出てからアライシリノミ
 のあるまでの一年間はイナウを作ってはならないとされていた。アライシリノミは毎年行い、そ
 の都度アライシリイナウを立てていくので何年も経つと柳の木の林立となりそこから柳の木の芽
 が出てくる事がある。別の家人が亡くなると更に一年後にアライシリイナウを立てる。

図23. 伏古、幕別の墓標



家にもう住む人がいなくなると、親類の者がアペフチにお祈りをした後でアライシリイナウも
 山に持って行き人の歩かないような場所で仕末する。

〔伏古・山川 弘氏〕

人間が死ぬことはエシッチウ esitciw(もともと「つんのめって倒れる」の意味)、もっと丁
 寧にはイホプパ ihoppaという。クマ(カムイ kamuy)が死ぬことはスーマウ アン suman
 anという。人間でもクマでもライ rayというのはあからさまな言い方だ。

[本別・沢井トメノ氏]

6-5. 女性とカムイノミ

メノコ カムイノミ チカナクネ カムイ ヌ カシペ ワ ウェンペ タパン クス メノ
コ アナク イテクケ カムイノミ ヤン。menoko kamuynomi cik anakne kamuy nu kaspera
wa wenpe tap an kusu menoko anak itekke kamuynomi yan. 「女がカムイノミするとカム
イはそれを聞きすぎるので悪いのだ。女はカムイノミをしてはならない。」というウチャシコマ
で女はカムイノミするなと言われた。

[本別・沢井トメノ氏]

6-6. トウス

22、3歳のころ、病気になった時、母親が帯広のチホマトのそばに住んでいたトウスフチ tusuhuci
の所に連れて行ってくれたことがある。そのころ私には乳飲み子がいたので、母が背負ってく
れた。(2-3-3)

トウスフチは、エタク テエン ホッケ、エチ ヌカラ アン ナ。etak teen hotke, eci nukar
an na. 「さあここによこになりなさい、見てあげますよ。」と言って拝んでくれたが、不思議な
ことに、知らぬ間に寝入ってしまい、翌朝までぐっすり眠ってしまった。とても不思議なこと
だと思う。そこでその間、母は娘の牛乳を買いに行ったり世話したりで走り回ったそう。ト
ウスフチの近所に住む老女らが3、4人手伝いに来てくれた。加勢に来たのだ。このおばあさ
んたちは、ホッ、ホッ、オヤ コタン ワ アリキ カッケマツ ウタラ イカネィペカ カト
ウ ウェン クニ カムイ ウタラ キ。キピニウケシ ワ イ コレ ヤン。ヤイカトウウェ
ン クニ キ ワ イ コレ ヤン。ho, ho, oya kotan wa arki katkemat utar ikaneypeka
katu wen kuni kamuy utar ki. kipiniwkes wa i kore yan. yaykatuwen kuni ki wa i kore
yan. 「よその村から来てるんだから、助けてやってくれ、神様たち、恥をかくなよ。」と言いな
がら、ラタシケブ rataskep やタバコを火にくべていた(オカオ okao)。

「神が恥をかくな」とは、病気が直らなければ神の力が足りなかったということになり、神の
恥となるということ。

[本別・沢井トメノ氏]

6-7. 夢

私はアイヌの夢(チニタ cinita)しか見ない。シサム sisam (和人)のチニタは見たこと
がない。それはアイヌの神(アイヌ カムイ aynu kamuy)が見守ってくれているから(カシ
ケ アノインカラ kaske an oĩnkar)、アイヌの流儀(アイヌ プリ aynu puri)の方が勝
っている(エイカウン eikaun)からだ。

近藤エカシは、おまえは生まれがシサムでありながらどうしてそんな夢を見るんだとしかりな

がら、それでもカムイノミをしてくれたことがある(イシジリクラン、タン カミアシ、シサム
エタク アン テク ハウキ。 issirkuran, tan kamiashi, sisam etak an tek hawki.)。

[本別・沢井トメノ氏]